

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援事業所Cocon			
○保護者評価実施期間	R8年 8月 3日		～	R8年 8月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	18人	(回答者数)	
○従業者評価実施期間	R8年 8月 3日		～	R8年 8月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5人	(回答者数)	5人
○事業者向け自己評価表作成日	R8年 8月 3日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	一人ひとりの特性や発達段階に合わせた、丁寧で専門性のある支援	日々のお子さまの様子を丁寧に観察し、職員間で共有しながら、個別支援計画に沿った支援を行っています。運動遊びや机上活動などを通して、それぞれの得意なことや苦手なことに合わせた関わり方を工夫しています。	日々の記録や振り返りをさらに活用し、お子さまの小さな成長や変化を職員全体で共有していきます。また、研修等を通して職員の専門性を高め、より一人ひとりに合った支援につなげていきます。
2	保護者とのこまめな情報共有と、相談しやすい関係づくり	連絡帳や送迎時、LINE、面談等を通して、日々のお子さまの様子や成長を丁寧にお伝えしています。また、ご家庭での困りごとや相談にもその都度対応し、保護者と一緒にお子さまの成長を支えていくことを大切にしています。	日々のやり取りに加え、定期的にお子さまの成長や今後の支援についてゆっくり話せる機会を設けていきます。また、ご家庭での関わりに役立つ情報提供や、保護者同士が交流できる機会についても検討していきます。
3	安心して楽しく通える環境と、幅広い活動内容	運動する部屋や机上活動の部屋、個別に落ち着ける場所などを使い分け、お子さまが安心して活動できる環境を整えています。また、活動が固定化しないよう、楽しみながらさまざまな経験ができるプログラムを工夫しています。	今後もお子さまの興味や発達に合わせて活動内容を工夫し、安心して楽しく通える環境づくりを続けていきます。あわせて、安全面の取組や訓練についても、保護者の皆さまにより分かりやすくお伝えしていきます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者同士の交流や、保護者向けの学び・情報提供の機会が十分ではないこと	日々の支援や送迎時の個別の情報共有を大切にしている一方で、保護者の方向士が交流したり、子育てや発達について一緒に学んだりする機会を設けるところまでは十分に組み合わせていません。	保護者の皆さまのご意見やご希望を伺いながら、交流の機会や勉強会、事業所からの情報発信など、無理なく参加できる方法を検討していきます。
2	安全面や災害時の対応など、事業所の取組について保護者への周知が十分ではないこと	避難訓練や安全管理、感染症対策等は事業所内で取り組んでいますが、その内容や実施状況を保護者の皆さまへ分かりやすくお伝えする機会が十分ではありませんでした。	避難訓練や安全対策等の実施内容について、連絡帳やお知らせ等を活用して分かりやすくお伝えし、安心して利用していただけるよう情報発信を充実させていきます。
3	地域や関係機関とのつながりを、さらに広げていく必要があること	開所からの期間がまだ短く、園や関係機関との連携は少しずつ進めているものの、地域との交流や事業所の取組を知っていただく機会については、今後さらに充実させる必要があります。	園や相談支援事業所などの関係機関との情報共有を引き続き大切にするとともに、地域との交流や事業所の活動を知っていただく機会についても検討し、地域の中で連携してお子さまを支えられる体制づくりを進めていきます。